

平成31年4月19日

関係高等学校長 様
同 弓道部顧問 様

福島県南高体連弓道専門部会長 瀬谷 真理子

令和元年度福島県南高等学校春季弓道大会
並びに
第65回福島県高等学校体育大会弓道競技県南地区予選会について

記

1. 期 日 第1日 5月11日(土) 8:30顧問会 9:00開会 個人競技(女子・男子)
第2日 5月12日(日) 8:40団体競技(男子・女子) 16:30表彰式予定
2. 主催・共催 主催を福島県南高校体育連盟弓道専門部とし、郡山市の共催のもと大会を実施する。
3. 場 所 郡山市開成山弓道場(郡山市開成1丁目5-12)
4. 競 技 (1) 種類 個人競技 団体競技
(2) 種別 女子の部 男子の部
(3) 種目 近的競技
5. 大会参加
(1) 参加資格 高体連加盟校生徒で平成31年4月2日現在、19歳未満の者で学校長の出場許可を得た者。
(2) 参加人員 個人 制限をしない
団体 選手7名
(3) 参加申込 5月8日(水)10時まで(メール添付にて申し込むこと)
メール: sugita.kazuma@fcs.ed.jp
FAX: 0247-72-6211 (担当)小野高等学校 杉田 一馬
正式な参加申込書は5月9日(木)の顧問会に持参すること。
6. 競技方法
(1) 行 射 個人予選、準決勝のみ立射。その他はすべて坐射。
団体5名20射の行射時間は8分とし、7分30秒で予鈴、8分で本鈴を鳴らす。
弦切れの際も時間の延長はしない。本鈴は制限時間の経過の確認と同時に鳴らすので本鈴と同時以降の発射は無効とする。
個人戦立射は7分、坐射は8分を目安とする。
3射場制15人立で行う。
(2) 個人競技
予 選 各人4射を行い、2中以上の者が準決勝に進出する。
準決勝 各人4射を行い、予選からの合計8射の的中数高点順に、女子17位、男子16位同中位の者までが決勝に進出する。
決 勝 各人4射を行い、予選からの合計12射の的中数高点順に、6位までと、女子17位・男子16位以内を決める。なお、同中の場合は射詰を行う。
ただし、2位以下については遠近法を行うこともある。
(3) 団体競技
予 選 各人12射計60射を行い、高点順に男女ともに6位までの団体を予選通過とする。同中の場合は各自1射団体計5射の射詰競射を行う。
準決勝 各人4射計20射を行い、予選からの合計80射の的中数順に上位3団体を決勝進出とする。同中の場合は各自1射団体計5射の射詰競射を行う。
決 勝 3団体によるリーグ戦方式で順位を決定する。同中の場合は、射詰によって勝敗を決める。(同勝率の場合は、総的中数によって順位を決める。さらに同じ場合は、射詰によって順位を決定する。)

(4) 選手交代

個人競技 選手交代は認めない。

団体競技

- (ア) 選手交代は所定の用紙にて届け出るものとする。
- (イ) 選手7名のうち5名を大会参加申し込みの際、先発メンバーとして登録する。7名の枠内で3回の交代を認める。1回における交代は2名までとする。
- (ウ) 競技開始後の交代は第3控に入るまでとする。
- (エ) 立順変更は認めない。ただし、選手交代により立順が変わる場合は、これを立順交代とはみなさない。
- (オ) 登録した選手に欠員のある場合、所定の交代をした後、事故を生じ欠場する場合は欠員のまま団体とする。

7. 審判 全国高体連弓道競技規則による。

8. 表彰 団体3位まで、個人6位まで表彰する。
他に団体の射道優秀校と個人に皆中賞（12射）をもうける。

9. 競技運営

(1) 監督

監督は大会運営に協力する。

監督は次の事項に留意する。

- (ア) 射場内への出入りは選手と共にし、射場内の所定の場所に位置する。
- (イ) 射場内において技術指導をしてはならない。
- (ウ) 当たり・外れの異議申し立てをすることができる。ただし、矢を抜き取る前までとする。
- (エ) 弦が切れた場合は競技役員の指示に従い、速やかに処理する。
- (オ) 射詰め等において、必ず替え矢を準備し、競技役員の指示に従うこと。

(2) 選手

- ①道場内においては競技役員の指示に従って静かに行動する。無用の発声をしてはならない。競技役員の指示に従わないときは審判員より退場を命じることがある。
- ②個人競技・団体競技とも替え矢を必ず準備すること。射詰めの1本目は替え矢を使用する。替え矢を準備していなければその矢に限り失権とする。

10. 服装

弓道衣（白）、袴、白足袋とする。鉢巻き使用の場合は長さは肩までとする。
弓道衣に校名などの刺繍を入れる場合は片袖に限る。大きさは縦横10cm以内とする。
弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の無地のものとし襟付き・ハイネックは不可とする。
袴へ刺繍等により校名・氏名を入れる場合は右腰後にする。
鉢巻を使用する場合は、無地で長さは肩までとする。なお、校名・校章・氏名に限り入れてもよいが場所は鉢巻の端とする。
胸当は無地とし校名・校章・その他を入れてはならない。男子の胸当ての使用は認めないが、道着の下に装着する事までは咎めない。
リボン・ピアス等の装身具類は着用しないこと。
白シャツ、校服のズボン・スカートを着てもよいが、男女とも白靴下を着用すること。また、県大会以上では弓道衣以外は認められない。
出場選手はゼッケンを右腰につける。



11. 上位大会地区代表

(1) 個人競技 上位女子17名・男子16名

+各校推薦選手2名(団体県大会出場校は、団体選手の中から推薦選手を選出すること)

(2) 団体競技 上位女子7団体・男子7団体

※前年度新人戦県大会優勝校には高校総体県大会出場権が付与されるため、前年度新人戦県大会優勝校がある場合、当該校を除いた予選上位7団体に県大会出場権を与える。(安積黎明高校女子が該当)